

インスペック株式会社向けシンジケートローンの組成について

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）は、インスペック株式会社（代表取締役 菅原 雅史）に対し、当行をアレンジャー兼エージェントとする総額20億円のシンジケートローンを組成しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

インスペック株式会社は、ロールtoロール型検査装置やフラットベッド型検査装置を主力製品とする秋田県内企業です。2023年1月に第9回ものづくり日本大賞の「経済産業大臣賞」を受賞するなど高度な技術力・開発力を有しており、生成AI向け半導体を中心とした半導体市場拡大への対応等により、さらなる事業成長や地域製造業の牽引が期待されます。

当行は、今後も成長資金の提供を通じて地域で輝く企業・事業を支援し、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

記

1 企業概要

企業名	インスペック株式会社（東証スタンダード上場）
代表者	代表取締役社長 菅原 雅史
本社所在地	秋田県仙北市角館町雲然荒屋敷79-1
事業内容	半導体用精密基板の外観検査装置製造・販売など
設立	1988年5月

2 シンジケートローン概要

契約形態	シンジケートローン方式によるコミットメントライン ^(注)
貸付極度額	20億円
参加金融機関	株式会社秋田銀行、株式会社商工組合中央金庫、羽後信用金庫
資金使途	運転資金
契約締結日	2024年12月25日
コミットメント期間	2024年12月30日～2025年12月30日

(注) コミットメントラインとは、お客さまと金融機関があらかじめ契約した一定条件下（期間・融資枠など）で、お客さまのご請求に基づき金融機関が融資を実行することをお約束（コミット）する契約です。本契約により、お客さまは安定的に運転資金を確保できます。

(以上)

8 働きがいも
経済成長も17 パートナリシップで
目標を達成しよう

SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題17目標と目標を達成するための169のターゲットが示されています。